

へ(ホ)(ニ)(ハ)(ロ)(イ)

色の鮮明すぎるもの
強すぎる香ひのあるもの
甘過ぎてサツカリンのやうなもの
花の美麗すぎるもの
樹が低く葉に美しい色、斑のあるもの
マンゴーを食べる時には牛乳(山羊乳)や酒と一緒に飲むのはならぬ

一五、衛生

前にも述べた様に熱地作戦とは色々な病氣との戦争だ、特別に注意を要する事はマラリヤと腸病と脚氣と毒蛇とである。其の他コレラ、チフス、ペスト、天然痘、結核、癩等も年中何所にでもある。又敵は苦しませずに此等の恐しい微菌を撒くかも知れぬ、要心には要心を重ね、敵の放棄した井戸や糧食等はうっかり利用してはいけぬ。

暑さに犬まで狂つてか狂犬病が多い、噛まれたら速く診断を受けねばなら

衛生

五七

69

0358

1. マラリヤはどうして罹るか

マラリヤは最も注意しなければならぬ、昔から熱地作戦ではマラリヤを防ぐ事が出来るかどうかで成功するかどうかが決まると言はれた位だ。一人の友軍の新しいマラリヤ患者は、土人のマラリヤ患者より有力なる傳染源となる。従つて自分の爲ばかりでなく軍全般の爲に早く診断を受けて處置して貰へ。

マラリヤは蚊に依つて傳染するものである。マラリヤ蚊は内地には殆んどないが熱帯には各地に多い。其の種類も澤山あるが止る時に尻を上げて止るのが一番見易い特徴である。汚いどぶ水にボウフラがわくから一般にマラリヤ蚊も同様だらうと思ふが、マラリヤ蚊は清潔好きで溜り水にはうかぬ。山間の清流や海岸の淡水と鹽水の交流する所等に多い。内地では蚊に蚊が多いからジヤングル地帯に多い様にも考へられるがマラ

0359

リヤ蚊は山地のジャングルには殆んど居らぬ。ジャバや馬來地方ではマラリヤ豫防の爲法令を設けてジャングルの切開きを制限して居る所さへある。マラリヤ蚊は薄暮から前半夜にかけて最も活動するが夜半以後は却つて減少する、又別に鉸蚊が居るが此れはマラリヤ蚊と異つて晝間活動し之に刺されると熱病に罹ることがあるから晝間の蚊でも油断はならぬ、寝る時に蚊張をつる事も大切であるが起きて居る時に刺されぬ工夫がより必要である。豫防薬は教へられた通りに服み防蚊具をつけ防蚊膏を塗る事を怠つてはならぬ。

2. 喝病とは何か

喝病とは日射病の事である。病後間もなく身體が衰弱して居るもの、食欲不振のもの、睡眠不足のもの、マラリヤ原蟲保有者等は特にかかり易いから注意しなければならぬ、喝病は先づ汗が多く出て身體が熱くなり顔色が紅くなるが段々汗が止み氣力衰へ呼吸が苦しく動悸が高まり顔が蒼くなつて墮き易く今にも倒れさうになる、此の時すぐ日蔭で休むと間もなく恢復するが放

衛生

五九

0360

つて置くと意識不明になつて倒れて仕舞ふ。

3. 腸病に罹らぬ爲には

給水を十分にし寝不足と空腹とを防ぐ事が何よりの豫防薬である。

4. 罹つたらどうするか

背囊を下し被服を脱がせ風通しのよい日蔭で安臥させ頭を高くして扇子類で風を送り水を飲ませ冷水を全身にぶつかけ呼吸不十分の時は人工呼吸をやり身體を安靜にし恢復後と雖も過早に行動させてはならぬ。

5. 蛇に咬まれるな

熱地の毒蛇は其の種類が多く何れも猛毒を有つて居るから咬まれたら直ぐ處置しないと死ぬ事が多い。

蛇の最も多くすむ所は山地の叢林と水邊であるが平地や樹の上に棲む事も

72

0361

ある。人を見たら逃げるから先頭の兵が竹竿を持ち蛇拂ひをやりながら行進すると被害はない、咬まれるのは不注意で踏んだり、樹の枝と一緒に掴んだりするからである。咬まれたら即刻傷口より心臓に近い所で三箇所を強く縛り毒が心臓部に流れ込むのを防ぎ傷口を小刀等で刺して血を口で十分吸ひ出し速に衛生部員の手當を受けねばならぬ、蛇の種類に依つて手當する藥が異なるから咬んだ蛇の種類を見届ける事は是非とも必要な事である。

6. 脚氣になるな

脚氣は主としてビタミン缺乏に由つて起るが熱地では特に罹り易い。偏食をせず、新しい野菜や果物を成るべく多く摂るとよい。

一六、馬 衛 生

馬は暑さに馴れるまでは餘程大事にしないと弱り易い、最初に一番注意せねばならないのは日射病及熱射病と蹄葉炎である、それから人のマラリキの

馬 衛 生

六一

五七

0362